

## Japanese Association of Certified Social Workers

公益社団法人

日本社会  
福祉士会  
NEWSNo.212  
JUNE.2024ホームページのURL  
<https://www.jacsw.or.jp/>

令和6年能登半島地震 被災地支援	1
世界ソーシャルワークデー 2024 記念ワークショップ開催	3
e-ラーニング講座のご案内	4
生涯研修制度～基礎課程から専門課程へステップアップ!～	5
2024年度全国大会・栃木大会 栃木でお会いしましょう!	6
2025年度全国大会・島根大会のテーマが決定しました	6
三十周年記念式典/三十年史	7
2023年度臨時総会(第2回)を開催しました	8
2024年度通常総会の議案について	9
声明を発信しました	9
2023年度補助金・助成金事業報告	10
国家資格等情報連携・活用システムがスタート	11
2024年度 行事予定表	12
情報コーナー/BOOKコーナー	13
事務局組織図/四谷事務局だより	14

## 令和6年能登半島地震 被災地支援

## 継続的に組織的な支援を

日本社会福祉士会 副会長 (災害支援担当理事) 岡本 達也

本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の被災地支援について、日本社会福祉士会（以下「本会」）は、石川県社会福祉士会（以下「県士会」）と連携を図りながら側方支援を行っています。今回は、石川県士会における支援活動を中心に報告します。

## 石川県地域支え合いセンター金沢、宿泊拠点施設を開設

石川県士会では能登半島地震における被災者支援活動とした「被災者見守り・相談等支援事業」を実施しています。本事業では、みなし仮設住宅（以下「みなし仮設」）の約6割を占める金沢市内の避難者のもとへ3月8日から生活支援相談員を派遣しています。この派遣は、日本社会福祉士会災害対応ガイドライン第8条に基づき、東海北陸ブロックの会員の協力を得ています。

訪問用車両として軽自動車5台をリースし、金沢市中心部の空き店舗付き住宅を、県外の社会福祉士の宿泊拠点として確保・整備しています。みなし仮設へ入居した755世帯に対して生活支援相談員がペアを組んで訪問しています。

全国の皆さまから寄せられた活動支援金は、宿泊拠点の改修やコーディネーターの配置に充てさせていただきます。



生活支援相談員の宿泊拠点施設前にて生活支援相談員の皆さんと末松石川県士会会長（左から4人目）、北脇石川県士会副会長兼事務局長（左から5人目）、災害支援担当理事岡本（左から3人目）

## 金沢市1.5次避難所の支援活動

金沢市が所管する額谷ふれあい体育館などの1.5次避難所における相談支援では主に対象者の「高齢者の介護ニーズ」を把握し、必要な介護保険サービ

スや関係機関につないでいるほか、高齢者以外の相談や総合的な福祉の相談窓口としても機能しています。

4月8日までで、延べ125人の社会福祉士が活動しています。

### 今後の見通しと活動協力のお願い

2次避難所から「みなし仮設」へ移られる被災者とライフラインが復旧して能登へ戻られる被災者の動きを考慮すると、6～7月頃に「みなし仮設」の入居世帯数がピークになると予想されています。対象件数の増加に応じた生活支援相談員の確保、コーディネートやケースマネジメントができる人材確保が必要となっています。

4月8日現在、東海北陸ブロックから108名が活動登録し、関東甲信越ブロック、近畿ブロックの各県士会に活動支援員の募集を広げることとしミーティングを実施しています。引き続き北海道、東北、中国、四国、九州・沖縄ブロックに活動支援者の募

集をしていく予定です。

### 組織力を活かした支援・受援体制の構築にむけて

今回の能登半島地震においては、本会、石川県士会、国、自治体、社協と適時打ち合わせを実施し、社会福祉士会の活動支援員とのミーティングも行っています。日本社会福祉士会では災害対応ガイドラインに基づき、行政との連携、ブロック毎の広域的な支援体制の構築など組織力を活かした対応を行っています。

能登半島地震は、半島における震災ということが支援の遅れをまねき、交通、生活インフラの制約の中で避難と支援が行われています。

引き続き、皆さまのご協力、ご支援を賜りたく存じます。よろしくお願ひいたします。

「令和6年能登半島地震 被災地支援」に関する情報は、本会ホームページに随時掲載しています。→



### 災害担当者会議を開催しました

2024年2月25日(日)、41県士会から56名の災害支援担当者の参加のもと「都道府県社会福祉士会災害担当者会議」をZoomで開催しました。

この会議では、全国社会福祉協議会法人振興部部長の鈴木史郎氏(役職は当時)をお招きし、「災害福祉支援ネットワーク中央センターの事業実施状況と社会福祉士会への期待」をテーマにご講演いただきました。

鈴木氏からは、都道府県におけるDWATの設置状況や中央センターにおける取組みの方向性や考え方を説明いただくとともに、令和6年能登半島地震へのDWATの対応状況などについてお話いただきました。

続いて、全国で唯一、社会福祉士会としてDWAT事務局を担当している宮崎県士会と、県外支援等の観点から東日本大震災以降の支援実績のある福島県士会から、それぞれ取組みについて報告いただきました。

これらの報告をふまえ、本会の災害担当理事の岡本副会長から「令和6年能登半島地震について」というテーマで、北陸3県を中心とした現在の社会福祉士会による支援活動、行政との連携の状況について報告がなされるとともに、「被災者見守り・相談支援等事業」をふまえた今後の展開について報告がなされました。



全国社会福祉協議会 鈴木史郎氏

### 活動支援金へのご協力をお願いします！

本会は、被災した圏域の県社会福祉士会の活動等を支援するための募金を募集しています。引き続き、格段のご協力をお寄せくださいますようお願いいたします。

#### 【活動支援金の振込先】

- ①郵便振替口座：00150-0-687734 加入者名：公益社団法人日本社会福祉士会
- ②銀行名：ゆうちょ銀行(金融機関コード：9900)
- 支店名：〇一九店(ゼロイチキュウ店)(店番：019)
- 預金種別：当座/687734 口座名義：公益社団法人日本社会福祉士会

- ・匿名(匿名希望)の場合を除いて、支援金をお寄せいただいた個人・団体の氏名・名称(カタカナまたは漢字)は本会ホームページに適宜掲載させていただきます。個人で匿名を希望される方は、通信欄にその旨をご記入願ひます。
- ・支援をいただいた金額は、所得控除の対象となります。
- ・領収証が必要な場合は、別途、ご連絡ください。

活動支援金募集のページ→



# 世界ソーシャルワークデー 2024 記念ワークショップ開催

本会が加盟する日本ソーシャルワーカー連盟（JFSW）は、3月9日（土）、日本女子大学目白キャンパス（東京都文京区）にて、国内外のソーシャルワーカーが世界のソーシャルワークについて学び考える機会として、世界ソーシャルワークデー 2024記念ワークショップ「滞日外国人等の医療・メンタルヘルスに対応したソーシャルワークの構築」を開催し、44名が参加登録されました。

この事業は、（公財）社会福祉振興・試験センターの助成を受けて、国内のさまざまな領域で活躍しているソーシャルワーカーが、多様な文化的背景を有する滞日外国人に対するソーシャルワーク実践を学ぶ機会を提供することを目的として、開催されました。

ワークショップでは、まず、多文化理解を深めるとはどういうことか、体験を通じて学んだ上で、医療・メンタルヘルスなど各分野の専門家からの講義と、演劇やディスカッションなど多様なグループワーク手法を通じて、臨床的・実践的な学びの機会が提供されました。

参加者からは、「講義の後のディスカッションで、実践的な考えや他文化との違いの目線の取り方など、他の方の意見を聞くことで気がつくことも多くあった」「外国の方が置かれている日本での医療やメンタルヘルス、その他での困難性などについて学ぶことができた」「多職種がつながること、小さな声を大きなものにしていくことの重要性を感じた」など、講義やグループワークを通じて新しい知識や視点を得たという声が寄せられました。

本ワークショップの動画は、日本ソーシャルワーカー連盟ホームページ（<https://jfsw.org/>）に掲載されていますので、ぜひご視聴ください。



## 世界ソーシャルワークデー 2024 記念ワークショップ プログラム

### 開会の挨拶

小原真知子 氏（(公社)日本医療ソーシャルワーカー協会）

### 趣旨説明

伊東 良輔 氏（(公社)日本社会福祉士会）

### 講義「滞日外国人等の包括的理解とソーシャルワーク」

小貫 大輔 氏（東海大学 教授）

### 講義「滞日外国人等の医療とソーシャルワーク」

沢田 貴志 氏（港町診療所 所長）

### 講義「滞日外国人等のメンタルヘルスとソーシャルワーク」

鶴川 晃 氏（大正大学 教授）

### 総括

松永千恵子 氏（(一社)日本ソーシャルワーカー協会）

### 閉会の挨拶

大橋 雅啓 氏（(公社)日本精神保健福祉士協会）



ワークショップの様子

※世界ソーシャルワークデーは、ソーシャルワークの成果を強調し、ソーシャルサービスの認知度を高め、社会正義と人権を擁護することを目的に、毎年3月の第3火曜日に設定されています。

# e-ラーニング講座のご案内

本会では、会員の皆さまをはじめソーシャルワークに関心がある方に向けて、社会福祉士の業務に役立つ講義などをe-ラーニング講座としてオンデマンド配信しています。

e-ラーニング講座を視聴するには、ID・パスワードが必要です。ID・パスワードは入会時および更新会員証発行時に、会員証とあわせて書面にて郵便でお送りしています。

ID・パスワードがご不明な場合は、e-learning@jacsw.or.jpまでメールにてお問い合わせください。

次表でソーシャルワーク実践に携わるすべての方にご覧いただきたい講座をご紹介します。

今後も新たなコンテンツをアップロードしていく予定です。ぜひご活用ください。

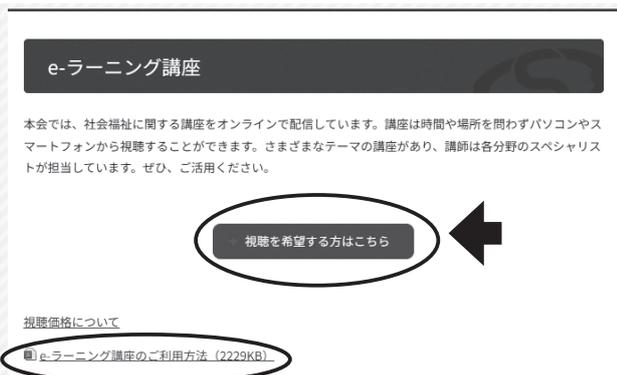
講座名	講座内容等
倫理綱領の必要性	○倫理綱領とは何か、なぜ社会福祉士には倫理綱領が必要なのか、さらには倫理綱領の活用方法について解説します。
倫理綱領の理解を深めるために	○2020年6月採択の倫理綱領、2021年3月採択の行動規範を、より多くの社会福祉士の皆さまに身近に感じ、日々の実践の拠り所とできるよう、前回の倫理綱領から変更された点、特に押さえておくべき項目を取り上げて解説します。 ○『三訂 社会福祉士の倫理・実践ガイドブック』(中央法規出版 2022年4月)を発刊しています。
社会福祉士実習指導者アップデート講座	○2021年4月より、社会福祉士養成カリキュラムが変更となりました。それに伴い「相談援助実習」は「ソーシャルワーク実習」に変更となっています。この講座では、実習指導が「ソーシャルワーク実習」ではどのように変更となったのかについて、「実習指導概論」「実習マネジメント論」「実習プログラミング論」「実習スーパービジョン論」の4科目の講義で概要を説明します。 ○「ソーシャルワーク実習」に対応した、『新版 社会福祉士実習指導者テキスト』(中央法規出版 2022年4月)を発刊しています。

## e-ラーニング講座の視聴方法

- ① 日本社会福祉士会トップページの右側上部の「e-Learning 講座開講中」をクリック



- ② 下記ページ上段の「視聴を希望する方はこちら」をクリック



- ③ ID・パスワードを入力

■既にID、パスワードをお持ちの方  
ユーザーID、パスワードを入力して、ログインボタンをクリックしてください。

ユーザーID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="ログイン"/>	

- ④ 「講座一覧」から講座を選び、視聴開始！



e-ラーニング講座の操作マニュアルについては、②の画像左下にある「e-ラーニング講座のご利用方法」よりご覧ください。

# 生涯研修制度

## ～基礎課程から専門課程へステップアップ!～

社会福祉士は、常に新しい知識や技術、高い倫理性を身につけ、自らの専門性を向上させていくことが必要です。本会は、生涯研修制度を整備するとともに、さまざまな研修や情報を提供し、サポートをしています。

### ■生涯研修制度とは

生涯研修制度は、各都道府県社会福祉士会に所属する会員が社会福祉士の職務に関する知識および技術の向上、倫理および資質の向上のために、生涯にわたって研鑽を重ねることを支援する制度です。

### ■生涯研修制度の体系

生涯研修制度は、「基礎課程」「専門課程」の2つの課程からなっています。

基礎課程は、都道府県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程です。専門課程は、基礎研修を修了した会員が自ら立てた研修計画に従い、さらに研鑽を積むための課程です。

### ■基礎課程について

基礎研修は、社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることが目的です。

基礎研修Ⅰから基礎研修Ⅲまで修了することで基礎課程修了となります。

受講方法は、原則としてご所属の都道府県社会福祉士会で受講することになります。具体的な研修の実施方法等については、各都道府県社会福祉士会にご確認ください。(会員以外の社会福祉士も受講できます。)

### ■専門課程について

専門課程には、社会福祉士として共通に必要な内容である「共通研修」と特定の領域による専門的な内容である「分野研修」とがあり、専門性の向上には両者のバランスのよい受講が望まれます。

#### (1) 研修計画

専門課程は、決まったカリキュラムを履修するのではなく、ご自身のキャリアプランを見据えて研修

計画を立て、受講を進めます。

研修計画を立てるにあたっては、共通研修と分野研修をそれぞれバランス良く履修できるよう、生涯研修手帳に掲載している「認定社会福祉士制度 研修単位細則」別表1・2も参考にしてください。

#### (2) 受講要件

専門課程の研修の中には、基礎課程を修了していることを前提にプログラムが組み立てられているものもありますが、基礎課程の修了を受講要件としていない研修については、基礎課程修了前でも自由に受講していただくことが可能です。

研修によっては相談援助等実践を行っていないと受講要件が満たせず受講できない場合があります。各研修の受講要件を確認のうえ、ご自身が強化したい事項について受講可能な研修の受講をすすめてください。

生涯研修制度の詳細は、最新の生涯研修手帳をご覧ください。生涯研修手帳は、生涯研修センターホームページからダウンロードできます。

### ■動画でみる生涯研修制度

生涯研修センターホームページでは、「生涯研修制度ってどんな制度?」「どんなことが学べるの?」「どんな社会福祉士に成長できるの?」そのような疑問にお答えする動画を公開しています。是非、ご覧ください。

<https://www.jacsw.or.jp/ShogaiCenter/about/2023-0613-1127-10.html#movie03>

▶生涯研修センターTOPページ上にある右記アイコンをクリック

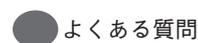


動画でみる  
生涯研修制度

### ■生涯研修制度 よくある質問

<https://www.jacsw.or.jp/ShogaiCenter/qanda.html>

▶生涯研修センターTOPページ上にある右記アイコンをクリック



生涯研修制度  
よくある質問

## 2024年度全国大会・栃木大会

# 栃木でお会いしましょう！

### 大会テーマ

これからの地域共生社会を担う社会福祉士としての挑戦  
～いちご一会をつなぎ未来を描いてゆく～

第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（栃木大会）は、6月22日（土）～23日（日）に栃木県宇都宮市で開催します。会場はJR宇都宮駅直結の「ライトキューブ宇都宮」です。（JR宇都宮駅東口改札から徒歩2分）

栃木県社会福祉士会一同皆さまのお越しをお待ちしています。

当日参加も可能です！

\*懇親会は前日（6月21日）までの事前の申込みが必要です。



## 2025年度全国大会・島根大会のテーマが決定しました いのち・権利・暮らしをまもり、支えるソーシャルワーク ～人と地域をつなぐ縁結び社会へ～

一般社団法人島根県社会福祉士会 会長 田中 涼

2025年度に開催する島根大会の大会テーマが決定しました。

時代が令和となり、新型コロナウイルスが猛威をふるい、度重なる自然災害による被害が生じ、海の向こうでは今なお戦争が終結する気配が見られないなど、世界規模で人間の「いのち・権利・暮らし」が脅かされる状況が続いています。

このような時代において、私たち社会福祉士にはウェルビーイングを高め、実現するためのソーシャルワーク実践が求められています。この期待に応えるためには、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義において中核原理とされている「社会正義」「人権」「集団的責任」「多様性尊重」に基づく実践のありようを問うことが必要と考えています。

サブテーマに使用した「縁結び社会」は、島根県のキャッチフレーズとしてたびたび使用される「ご

縁」を取り入れて作った言葉です。「いのち・権利・暮らし」をまもり、支えるためには、「ご縁」によるつながりの醸成が不可欠です。「その人らしい暮らしの実現」という明るい未来を創造するソーシャルワークのありようを、「ご縁の国」島根県で社会福祉士の実践から考える大会にしていきたいと思っています。

このような想いを込めた大会テーマを掲げ、2025年度島根大会が大盛況となるよう、総勢70人超で組織する実行委員体制を敷いて準備を進めています。

皆さま、ぜひとも島根県にお越しいただき、ソーシャルワークのありようを熱く語り合ひましょう。

【日程】2025年7月5日（土）～6日（日）

【会場】くにびきメッセ（島根県松江市）

## 三十周年記念式典を開催しました

2023年1月、公益社団法人日本社会福祉士会は三十周年を迎えました。これを記念して、2024年3月16日（土）に「公益社団法人日本社会福祉士会設立三十周年記念式典」（以下「記念式典」）を開催しました。

### ■任用拡大に向けた決意を表明

記念式典は、2023年臨時総会（第2回）のプログラム終了後、ルポール麹町（東京都千代田区）において、厚生労働省や関係団体よりご臨席を賜り、本会歴代会長、都道府県社会福祉士会（以下「県士会」）などとあわせて約100人の参加者を迎えて開催しました。

開会にあたり、西島会長から、令和6年能登半島地震で被災された皆さまへ哀悼の意を表するとともに、本会および県士会が、被災地の復興に向け、関係団体との連携・共同のもと取り組んでいく決意が話されました。また、本年4月からはじまる第四期中期計画の柱である「ソーシャルワークの推進」「活動基盤の強化」「専門性の向上」をもとに、一歩

一歩着実に、社会福祉士の任用拡大と実質的な業務独占を目指して取り組んでいくことを表明しました。

その後、厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策の吉田昌司室長から、武見敬三厚生労働大臣のご祝辞をご披露いただくとともに、来賓を代表して（一財）日本ソーシャルワークセンター代表理事の白澤政和氏からご祝辞を賜りました。

最後に第2代会長の橋本正明氏（社会福祉振興・試験センター理事長）からのご挨拶をいただきました。閉会は岡本副会長から、ご参集いただいた皆さまおよび本会の活動にご協力いただいた皆さまへの感謝の辞が述べられ、盛況のうちにおひらきとなりました。



ご歓談の様子



左から第2代会長の橋本正明氏と第3代会長の青木孝志氏



日本社会福祉士会 理事・監事の皆さん

### 三十年史を発刊しました

本会の設立21年から30年の歩みを綴った「日本社会福祉士会 三十年史」を発刊しました。中期計画や連合体制の確立、権利擁護の取り組み、政治的アプローチ、「こども家庭ソーシャルワーカー」認定資格に関する経過など、2013年度から2022年度までの10年間のあゆみを編纂しています。

本会ホームページからダウンロードできますので、ぜひご一読ください。

本会ホームページ「設立三十年史」

<https://www.jacsw.or.jp/introduction/2024-0205-1435-9.html>



## 2023年度臨時総会（第2回）を開催しました

2024年3月16日（土）に、ルポール麹町（東京都千代田区）において、2023年度臨時総会を開催しました。議事次第は次のとおりです。

### I 議案

第1号議案 役員報酬規則の一部改正

### II 承認事項

第1号承認 第四期中期計画

### III 理事会報告

第1号報告 2024年度事業計画

第2号報告 2024年度収支予算

第3号報告 令和6年能登半島地震について

### IV 事務連絡

第1号事務連絡 規程類改正

第2号事務連絡 第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（栃木大会）

第3号事務連絡 第33回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（島根大会）

第4号事務連絡 その他

（1）正会員に対する活動助成 募集要項

（2）成年後見に関する事項

（3）ケアマネジメント実践記録様式

（4）生活困窮者支援ソーシャルワーク全国研究集会 開催要項

（5）高齢者虐待対応現任者標準研修説明会・講師予定者研修 開催要項

（6）社会福祉士賠償責任保険（A・Dプラン）

第1号議案は、西島会長から理事および監事の理事会出席等に対する役員報酬について、現行規則に定めるとおりに支払いをした場合、規則に定める報酬総額の上限を超え支払いができなくなるという課題があるため、非常勤理事の年間報酬総額を「3,000,000円までの範囲内」に、監事の年間報酬総額を「600,000円の範囲内」に変更する改正を行うことについて提案がなされ、可決されました。

第1号承認では、西島会長から、第四期中期計画（2024年度から2028年度まで）について、2023年9月の都道府県士会会長会議での議論や、業務執行理事が全国47都道府県士会を訪問した際にあげられた意見をふまえ策定した内容の説明がなされました。会場からは「政治的アプローチの必要性は理解できるが、一部の政党を応援することには慎重であるべき」「小規模な県士会への支援には賛成」「節約するところは節約を」「新カリキュラムの実習に現場が追いついていない。わかりやすく情報の提供をしてほしい」等の意見があげられました。第四期中期計画は承認されました。

第1号報告および第2号報告では、2024年度の事業計画および予算について、安藤副会長、中田副会長から説明がなされました。第3号報告では、岡本副会長から令和6年度能登半島地震についての支援に関する状況報告がなされました。

また、事務連絡では、6月開催の第32回栃木大会の準備状況を松永千恵子栃木県社会福祉士会会長から、2025年開催の第33回島根大会の準備状況を田中涼島根県社会福祉士会会長から、それぞれご報告いただきました。

総会議案資料集および議事録はホームページに掲載しています。

以上

# 2024年度通常総会の議案について

2024年6月15日(土)に鉄鋼会館(東京都中央区)にて第36回通常総会を開催します。議事次第(予定)は次のとおりです。議案資料集は、ホームページに掲載しています。議事録は後日掲載予定です。

- I 議案
  - 第1号議案 2023年度決算報告
  - 第2号議案 2024年度日本社会福祉士会会費(石川県社会福祉士会分)の減免
  - 第3号議案 ぱあとなあ活動報告システムのサーバー利用料
- II 理事会報告
  - 第1号報告 2023年度事業報告
  - 第2号報告 2025年度予算・制度に関する提案書
  - 第3号報告 2023年度声明及び関係行政機関等への意見・要望等の状況
- III 事務連絡
  - 第1号事務連絡 規程類改正
  - 第2号事務連絡 第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(栃木大会)
  - 第3号事務連絡 第33回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(島根大会)
  - 第4号事務連絡 2023年度事務局代表者会議開催報告
  - 第5号事務連絡 2029年度全国大会開催地募集
  - 第6号事務連絡 その他

# 声明を発信しました

2024年1月以降、本会は、(公社)日本精神保健福祉士協会、(特非)日本ソーシャルワーカー協会との連名で、以下の声明を発信しました。詳細はホームページをご参照ください。

## 〇声明

発信日	標題
5月10日	「共同親権」の導入を柱とした民法等の改正案における「子どもの権利」に関する声明

社会福祉の新しい方向性を探る総合月刊誌

# 月刊福祉

内容を一部立読みできます

●B5判・104頁 ●定価1,170円(税込)  
●毎月6日発行 ※6日が土日祝の場合翌平日

**定期購読は送料無料で!**

**特集予定**

- 7月号 認知症とともに
- 8月号 施設の整備・再生産
- 9月号 検証・災害時の支援とその準備

※特集テーマは、今後の編集過程により変更となる場合があります。

●お申込みは、書店・都道府県・指定都市社会福祉協議会または下記へ●

**全社協出版部受注センター** 社会福祉士会 全国社会福祉協議会 出版部  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

受注専用 TEL.049-257-1080 FAX.049-257-3111  
zeshakyo-s@shakyo.or.jp

# 成年後見システム

業務フローに沿った情報管理で“わかりやすく・簡単”管理  
ご経験をつまれた方からこれから始められる方まで成年後見実務を力強くサポート。

**TYPE H**

社会福祉士様  
各種法人様向け

**TYPE P**

都道府県社会  
福祉士会会員様向け

機能とポイント

- 家裁申立・報告書類作成 ●基本情報登録(身上監護項目) ●財産管理 ●出納帳
- 業務日誌 ●預り品管理 ●スケジュール管理 ●後見収支プランニング機能
- 後見終了後の財産引渡用受領書ひな型 ●書式カスタマイズ機能

**通常価格の約半額! 特価キャンペーン実施中!**

ラインナップ	キャンペーン価格
成年後見システムTypeH・P(ライト版)	30,800円(税・送料込)
成年後見システムTypeH・P(スタンダード版)	52,800円(税・送料込)

※ライト版は被後見人の案件管理件数が3件まで、スタンダード版は無制限です。  
※キャンペーン期間は2025年3月末日までです。詳しくはホームページをご確認ください。

法律とコンピューター  
**株式会社リーガル**

本 社 TEL 089-957-0494  
東京営業所 TEL 03-5360-1755  
名古屋営業所 TEL 052-856-2090  
大阪営業所 TEL 06-6940-3440  
福岡営業所 TEL 092-432-9078

https://www.legal.co.jp/

# 2023年度補助金・助成金事業報告

## 令和5年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業） 介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究事業

本会は、昨年度に引き続き、令和5年度老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）として、「介護保険施設における社会福祉士の活用状況と有効性に関する調査研究事業」を実施しました。

実態把握を通じて、介護保険施設における社会福祉士の活用状況および有効性を明らかにすることができましたので、調査研究と成果の概要を報告します。

### 1. 事業実施方法

#### ① フォーカス・グループ・インタビュー調査

生活相談員や支援相談員などそれぞれ5名程度を対象とし、フォーカス・グループ・インタビューを計6回実施しました。

#### ② 介護老人福祉施設に対する調査

生活相談員を対象とし自由記述調査などを行い、社会福祉士の実践や活用状況等について1,434件の回答を得ました。

#### ③ ヒアリング調査（取組事例収集）

生活相談員や支援相談員を対象として、社会福祉士の実践等についてヒアリング調査し、事例にまとめました。

### 2. 結果・分析

#### ① 看取り介護とACP<sup>注</sup>の取組みへの貢献

社会福祉士を有する生活相談員は、専門的な価値・倫理、知識、技術等に基づく実践により、特に看取り介護加算の算定において統計的な有意差を明らかにすることができました。また、ACPへの理解と参加促進に貢献していることを明らかにすることができました。

項目	社会福祉士		p値	有意差
	資格者	無資格者		
看取り介護加算の算定者数	平均 9.4人	平均7.3人	0.001	あり
ACPの取組数	平均10.9人	平均8.8人	0.069	なし (※有意に近い傾向)

#### ② 認知症ケアへの貢献

社会福祉士資格を有する生活相談員は、認知症ケ

アにおいても意思推定、代弁、地域資源の活用、多職種連携による支援、認知症理解の促進など多角的な支援を行っていることを定性的に明らかにすることができました。

#### ③ 利用者のQOL向上への貢献

社会福祉士資格を有する生活相談員は、バイオ・サイコ・ソーシャルな視点に基づき、利用者の権利擁護と自己決定を尊重するなど利用者一人一人のニーズに寄り添い、専門性を活かした多様な実践を展開することで、利用者のQOL向上に貢献していることを定性的に明らかにすることができました。

#### ④ 地域共生社会の実現に向けた貢献

社会福祉士資格を有する生活相談員は、地域包括ケアシステムの深化・推進、多様な困りごとの解決、地域とのネットワーク構築、ボランティアの活用、身寄りのない利用者への支援など地域共生社会の実現に向けたさまざまな活動に取り組んでいることについても定性的に明らかにすることができました。

本調査研究事業では、介護老人福祉施設の生活相談員（社会福祉士）、介護老人保健施設の支援相談員（社会福祉士）の取組みなどを報告書にとりまとめています。

詳しくは、本調査研究事業の報告書（本会ホームページの助成・補助・委託事業のページに掲載）をご覧ください。

本会ホームページ「市民の皆様へ」→「助成・補助・委託事業」→「2023年度」



注 ACP (Advance Care Planning) とは、将来の変化に備え、将来の医療およびケアについて、本人を主体に、そのご家族や近い人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取組みのことです。

## 自治体等における社会福祉士等福祉専門職の 活用状況に関する調査研究事業

本事業は、令和5年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金（社会福祉推進事業）の交付を受け、実施しました。

本調査研究では、自治体等における社会福祉士等の採用・活用・定着状況および推移に関する実態を調査し、地域や分野ごとの特徴を踏まえた分析を行うとともに、将来において必要が見込まれる社会福祉士等の数の算出方法の検討を行いました。

### 事業実施内容

- (1) プレ調査
- (2) 自治体等における社会福祉士等の採用・活用・定着状況及び推移に関する実態調査
- (3) 人口規模等による地域差や、分野ごとに見られる社会福祉専門職の採用の特徴、成果と課題等の分析
- (4) 地域共生社会の実現に向けて、自治体等において必要とされる社会福祉士等の将来推計に関する算出方法の検討

社会福祉士等の将来推計に関する算出方法の検討として、1) 福祉職採用の経年的な人員配置数に基づく推計、2) 福祉事務所の経年的な人員配置数に基づく推計、3) 重層的支援体制整備事業の経年的

な人員配置数に基づく推計と、3つの将来推計モデルによる算出方法の検討を行いました。

検討した算出方法での推計によると、全てのモデルで2024年度以降の福祉職採用、福祉事務所および重層的支援体制整備事業における社会福祉士の配置数は増加傾向であるという結果がでています。

2023年12月の内閣官房全世代型社会保障構築会議による、「全世代型社会保障構築を目指す改革の道筋（改革工程）について」では、地域共生社会の実現に向けて「多様な専門性や背景を持つソーシャルワーカーの確保・活用のための取組」が盛り込まれ、「社会福祉士の活用状況等、実態を把握するために行った調査研究事業も踏まえ、社会福祉士の更なる活用について検討を行う」ことが示されていることから、本事業の成果は今後の社会福祉士の検討につながるものであると思われます。

詳しくは、本調査研究事業の報告書（本会ホームページの助成・補助事業のページに掲載）をご覧ください。

本会ホームページ「市民の皆様へ」→「助成・補助・委託事業」→「2023年度」



## 国家資格等情報連携・活用システムがスタート ～石川デジタル副大臣が来訪されました～

2024年3月21日（木）、石川昭政デジタル副大臣が本会事務局を来訪され、国家資格等情報連携・活用システムについて、西島会長と意見交換を行いました。

デジタル庁が開発してきた国家資格とマイナンバーカードを紐付けるデータベースが、2024年度からスタートし、資格者がマイナポータルから登録すると、転居時の住所の変更手続きや苗字の変更、電子資格証発行などがオンライン手続きできるようになるとのことです。資格者が施設等に就職する際には、電子資格証明書をオンラインで提出できることも想定されているとのことでした。



西島会長（左）と石川昭政デジタル副大臣（右）

## 2024年度 公益社団法人日本社会福祉士会 行事予定表 (変更となる可能性があります)

月	日	企画名	会場	都道府県社会福祉士会からの派遣	都道府県社会福祉士会推薦のある研修・会議等	規模等
4	14 20	2024年度高齢者虐待対応現任者標準研修説明会・講師予定者研修 第1回業務執行理事打合せ 第1回理事会	東京都内 事務局		○	47都道府県社会福祉士会
5	12 18 26	第1回全国生涯研修委員会議 第2回業務執行理事打合せ 第2回理事会 生活困窮者支援ソーシャルワーク全国研究集会	オンライン オンライン オンライン	○		47都道府県社会福祉士会  150人
6	15 22 22-23 30	第36回通常総会 第3回理事会 第3回業務執行理事打合せ 第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会(栃木大会) 第1回生涯研修センター協議会	東京都内 ライトキューブ宇都宮 ライトキューブ宇都宮 オンライン	○		15人
7	20 28	第4回業務執行理事打合せ 第4回理事会 都道府県ばあとなあ連絡協議会(第1回)	オンライン オンライン	○		47都道府県社会福祉士会
8	24	第5回業務執行理事打合せ 第5回理事会	事務局			
9	7 8 14-15 14-15 28	都道府県社会福祉士会会長会議 第6回理事会 都道府県社会福祉士会会長会議 スーパーバイザー養成研修 児童家庭支援ソーシャルワーク研修 第2回全国生涯研修委員会議	東京都内 東京都内 東京都内 集合 東京都内	○ ○ ○	○	50人 140人 47都道府県社会福祉士会
10	19	第6回業務執行理事打合せ 第7回理事会	オンライン		○	
11	9 16 23	都道府県社会福祉士会実習指導担当者会議 第7回業務執行理事打合せ 第8回理事会 倫理綱領・行動規範講師養成研修	オンライン オンライン オンライン		○	47都道府県社会福祉士会
12	8 15 21	独立型社会福祉士研修 独立型社会福祉士研修 第8回業務執行理事打合せ 第9回理事会	オンライン オンライン オンライン			45人 45人
1	18	第9回業務執行理事打合せ 第10回理事会	事務局	○		
2	5 8	事務局代表者会議 第10回業務執行理事打合せ 第11回理事会	オンライン オンライン			47都道府県社会福祉士会
3	15	臨時総会 第12回理事会	東京都内			

### ○開催月が未定の本会行事予定

月	日	企画名	会場	都道府県社会福祉士会からの派遣	都道府県社会福祉士会推薦のある研修・会議等	規模等
未	未定	生涯研修センター協議会(第2回)	オンライン	○		15人
未	未定	基礎研修講師養成研修	オンライン		○	240人
未	未定	スーパーバイザースキルアップ研修	集合		○	50人
未	未定	司法福祉全国実践研究集会	オンライン			200人
未	未定	地域包括ケア全国実践研究集会	集合			180人
未	未定	司法福祉全国担当者会議(仮)	オンライン		○	
12	未定	正会員事務局職員向け研修	オンライン			47都道府県社会福祉士会
未	未定	都道府県ばあとなあ連絡協議会(第2回)	集合	○		47都道府県社会福祉士会
2	未定	スクールソーシャルワーク全国実践研究集会	オンライン			300人
3	未定	スクールソーシャルワーク実践アドバイザー研究交流集会	オンライン	○		50人
未	未定	認定社会福祉士認定研修	オンライン		○	48人
未	未定	独立型社会福祉士全国実践研究集会	集合			200人
未	未定	虐待対応専門研修～アドバイザーコース～	未定			

## 学会関連情報

### 研究誌『社会福祉士』第32号の論文等募集

7月1日(月)より研究誌『社会福祉士』第31号の論文等を募集します(締切8月30日(金)必着【郵送】)。執筆要領などの詳細は、本会ホームページをご覧ください。皆さまの積極的な投稿をお待ちしています。



[投稿論文募集]

## 生涯研修センター情報

### 2024年度児童家庭支援ソーシャルワーク研修の開催について



2024年度の児童家庭支援ソーシャルワーク研修の開催要項を本会ホームページに掲載しています。

本研修では、子どもとその家族を支援するために必要な地域支援の仕

組みや各課題、特に児童虐待の要因となり得る貧困問題やDV、子どもの発達課題や親の精神疾患の問題等を学び、地域における子ども家庭支援を実践できるよう社会福祉士としての価値や倫理を踏まえた知識と技術を身につけることを目的に開催します。

【日程】2024年9月14日(土)～15日(日)

【会場】タイム24ビル研修室(東京都江東区)

【定員】140人

【申込方法】本会ホームページに掲載している開催要項をご確認の上、お申込みください。※申込受付は7月12日(金)まで。



※ここで紹介する本は一般書店等でお求めください。

### 「0から100歳の地域包括ケア」への挑戦—大学と地域の協働研究—

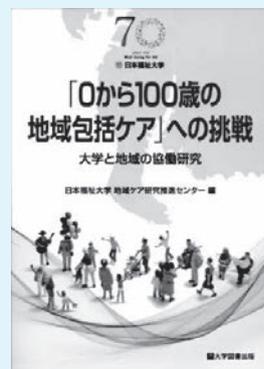
編集：日本福祉大学 地域ケア研究推進センター  
 執筆者：原田 正樹(愛知県社会福祉士会) 上山崎 悦代(京都社会福祉士会) 亀川 喜代美(愛知県社会福祉士会)

士会)川島 ゆり子(愛知県社会福祉士会) 末永 和也(福岡県社会福祉士会) 鈴木 庸裕(愛知県社会福祉士会) 添田 正揮(愛知県社会福祉士会) 野尻 紀恵(愛知県社会福祉士会) 山田 妙韶(大阪社会福祉士会)

発行元：大学図書出版  
 発行年月：2024年3月  
 A5判 / 264頁  
 価格：2,500円(税別)

本書は、新たな地域構想「相互に支え合う」地域—ケアリングコミュニティ—構築に向けた大学と

地域との協働研究を通じた挑戦の記録です。日本生命財団40周年記念特別委託研究の約6年間にわたって積み重ねられた成果であり、2023年に創立70周年を迎えた日本福祉大学の次世代を生きる若者へのバトンでもあります。



## 研修情報等は本会ホームページをご覧ください

現在、ニュースの送付には「ゆうメール」を使用していますが、信書性の確認に1カ月程度かかります。また、これまで同封していた社会福祉士賠償責任保険の案内などが信書としてゆうメールでは送付できないようになりました。



このため、ゆうメールを使用しながら円滑にニュースを発行するため、原則として研修の募集要項等のニュースへの同封については取りやめることとしました。

研修の開催案内につきましては、生涯研修センターホームページの研修情報をご確認いただきますようお願いいたします。

ご理解をいただけますようお願いいたします。

## キャリアアップ・スキルアップしませんか？

### キャリアコンサルタント養成講習

最短最速 1.5ヶ月で受験資格  
 格安価格 297,000円で受講可能  
 教育訓練給付金対応講座 給付制度の利用で受講料の最大70%支給されます！



社会福祉士と相性のいい国家資格！  
 ～「就労支援」の専門的知識とスキルで差別化し、幅広いサポートを提供～

## ダブルライセンスキャンペーン / ご受講されると

### 30,000円相当のポイントプレゼント

※ポイント：弊社が運営するキャリアコン・マッチングサイト【キャリア・オアシス】で使用できるものであり、合格に直結する「受験対策講座」や当サイト主催のセミナー、資格取得後の国指定の「更新講習」等に利用できます。

TRP 一般社団法人地域連携プラットフォーム  
 〒353-0006 埼玉県志木市館 2-5-2 鹿島ビル 4階  
 TEL : 048-487-6116



# 事務局組織図 (2024年4月1日現在)

事務局長  
牧野 一義

事務局次長  
北村裕美子

企画室  
牧野 一義  
(室長兼任)  
上野 善子  
政策実践研究員

## 総務・組織運営グループ

北村裕美子 (課長兼任)  
総務グループ業務全般  
生涯研修センター、基礎研修、スーパービジョン  
草川 茂 (課長補佐)  
総務、綱紀、保険、契約、労務  
庄子 夏子 (主任)  
会員管理、広報  
松野由美子 (主任)  
経理・出納、委託販売管理、全国大会、統一模試  
桑島 愛  
組織、学会  
高橋 順子  
生涯研修センター、実習指導、認定社会福祉士 (名簿登録)

## 企画グループ

荒木 千晴 (課長)  
権利擁護センターぱあとなあ、国際  
倉持美保子 (主査)  
生活困窮者支援、多文化、権利擁護センターぱあとなあ (虐待関連)  
縄田 宣之 (主査)  
権利擁護センターぱあとなあ (後見関連)、独立型社会福祉士、  
介護保険調査  
赤沼 裕紀 (主任)  
子ども家庭支援  
中野 駿 (主任)  
司法福祉、地域包括ケア、社会福祉士実態等調査  
鏡 健幸  
権利擁護センターぱあとなあ (後見関連)  
子ども家庭支援、スクールソーシャルワーク

## 認定社会福祉士制度推進グループ

牧野 一義 (課長兼任)  
認定社会福祉士制度推進グループ業務全般  
柏谷 千晶 (主任)  
認定社会福祉士認証・認定機構 (研修認証、SV)  
北村 毅 (主任)  
認定社会福祉士認証・認定機構 (個人認定、SV)

## 四谷事務局だより

### 行事予定・カレンダー

#### 6月

2日(日)独立型社会福祉士委員会  
4日(火)権利擁護推進部合同委員会  
6日(木)認定社会福祉士登録推進委員会  
8日(土)多文化ソーシャルワークプロジェクト  
15日(土)第3回理事会 第36回通常総会  
16日(日)生涯研修センター企画・運営委員会  
22日(土)第4回業務執行理事打合せ  
22日(土)～23日(日)日本社会福

祉会全国大会・社会福祉士学会(栃木大会)

23日(日)第1回学会運営委員会  
27日(木)第2回組織委員会  
30日(日)第1回生涯研修センター協議会

#### 7月

6日(土)第2回リーガルソーシャルワーク委員会  
20日(土)第4回業務執行理事打合せ 第4回理事会  
21日(日)生涯研修センター企画・運営委員会  
28日(日)都道府県ぱあとなあ連絡協

議会

#### 8月

3日(土)第2回学会運営委員会  
24日(土)第5回業務執行理事打合せ 第5回理事会  
25日(日)生涯研修センター企画・運営委員会

### 都道府県社会福祉士会 会員情報

4月30日付	会員数	45,003人
4月中	入会	会員数 1,094人増
前年同月	会員増減数	1,002人増
前年同月	会員増減率	2.28%増